

# 校内研修計画

山梨市立加納岩小学校

## 1. 学校課題

仲間とかかわり合う中で互いに認め合い協力し合う活動を展開してきたことにより、信頼関係や学級所属意識が高まり、個々の持っている力を発揮できるようになるなど、「学び合う学級集団」が育ちつつある。しかし、年々学年・学級内に学習面や生活面での困難さを抱える児童が多くなり、規律が守れなかったり、人間関係が良好につくれなかったり、自分の思いを伝えられなかったりする児童も見られるようになってきた。

そのため、実態把握や課題を明らかにし、互いに認め合い高め合うことのできる学級集団づくりをベースにしながら、自分の考えをしっかりと表現できる力を育成する取り組みが必要である。

## 2. 研究主題

「意欲的に伝え合う力の育成」

- 思考・表現を重視した授業の創造を通して -

## 3. 主題設定の理由

今回の学習指導要領の改訂では、児童生徒の課題を踏まえ、基礎的・基本的な知識・技能を発達段階に応じて徹底習熟させること、さらに、知識・技能の活用を図る学習活動を充実し、思考力・判断力・表現力等の能力をはぐくむこと、主体的に学習に取り組む態度を養うことが目標として提示されている。児童の思考力・判断力・表現力をはぐくむにあたっては、学習活動の基盤である言語に関する能力を重視し、言語活動を充実することとしている。

本校では、H22・H23度の校内研究において、仲間との関わり合いの場における「話し合いの工夫」をすることで、意欲的に他と関わり合いながら学び合う子どもの育成に取り組んだ。その結果、子どもたちは自分なりの考えを持ち、主体的に学習や活動に臨むようになってきた。また、相手を意識しながら伝えることができるようになってきた。

そこで今年は、言語を主にしながらも「視覚化」や「操作化」などを取り入れて、伝える相手を意識して、分かりやすく伝えるように表現を工夫することと、相手の表現しようとしている意図を理解しようとして聞く態度を育てるための実践を積んでいきたい。

## 4. 研究の具体的内容と方法

### (1) 内容

ア：授業づくり

学習課程の工夫

教材・教具の工夫

評価の工夫

イ：授業づくりを成立させるための土台づくりとして集団づくりに取り組む

実態把握を課題を明確にし、努力目標を立て各学級ごと取り組む。

### (2) 方法

基礎研究，理論研究を積む。

アンケート調査による児童と学級集団の実態を把握する。

2部会に分かれ，実践的研究を進める。

各部会で2本ずつ提案授業として全体に提案し，学習会をする。

一人一実践をし，全体に報告する。(集団づくりとして取り組んだ実践事例も含めて報告する。)

授業・集団づくりのための研修会やミニ学習会をする。

## 年間校内研修計画

研究主任 広瀬きよ美

研究テーマ	教科領域	担当者	学年	時期	T C 要請
意欲的に伝え合う子どもの育成 思考・表現を重視した授業の創造を通して	研究推進委員会 研究主題・副主題の設定	研究主任	全体	4月	
	研究仮説・構想・内容・方法・組織・年間計画の検討 Q-U調査Q-U分析 ミニ研修会 ・ 部会別研究	研究主任 各部部长 研究主任・各部部长 各講座担当	全体 各部部长 全体・各部部长	5月	
	部会別研究	各部部长	各部部长	6月	
	提案授業 ・ 研究会	B部部长	各部部长	7月	
	ミニ研修会 ・ 部会別研究 研修会（講師招へい）・部会別研究	研究主任、各講座担当・各部部长 研究主任・各部部长	全体・各部部长 全体・各部部长	8月	
	部会別研究	各部部长	各部部长	9月	
	提案授業 ・ 研究会 部会別研究 提案授業 ・ 研究会 提案授業 ・ 研究会	A部部长 各部部长 B部部长 A部部长	各部部长 各部部长	10月 11月	
	Q-U調査Q-U分析（2回目） 一人一実践のまとめ			12月	
	部会別研究のまとめ	各部部长	各部部长	1月	
	学習会 部会交流 研究のまとめと反省 来年度の研究の方向性 研究紀要の作成	研究主任 各部部长 研究主任	全体 各部部长	2月	
	研究紀要の作成			3月	